

平成24年度（2012年度）

事業報告書

2013年6月

学校法人 新潟高度情報学園

新潟高度情報専門学校

[1] 学校の概要、目標及び計画

1. 学校長名

石澤 直樹

2. 所在地

〒950-0084 新潟県新潟市中央区明石 1 - 3 - 1 2

3. 連絡先

Tel 025-241-0133

Fax 025-242-3545

4. 学校の沿革・歴史

学校案内ページ参照 (http://www.nht.ac.jp/school_02.html)

5. 学校の特徴

学校案内ページ (http://www.nht.ac.jp/school_01.html)・パンフレット等参照

6. 目標

学則に掲げる本校の教育の目的「本校は、学校教育法に基づき、技能者の養成に合わせ、教養・人格度の高い道義・礼節・作法をも身に付けた、人間性豊かな技術者及び実務者を育成することを目的とする」の実現をめざす。

7. 教育指導計画

カリキュラム及び年間行事予定表・パンフレット等参照

8. 計画

本校の1年間は、4月1日から始まり翌年3月31日までの2学期制とする。

2学期の期間は次の通りとする。

前期 4月1日から9月20日まで

後期 9月21日から翌年3月31日まで

主な学校行事として、スポーツ大会・球技大会・発表会などがある。

[2] 各学科等の教育

1. 大学併修科 <旧 高度情報科学科> (修業年限4年)

- (1) 定員数 60名
- (2) カリキュラム及び時間割 該当ページ参照 (http://www.nht.ac.jp/course_01.html)
- (3) 進級・卒業の要件
 - ① 成績評価
学期末試験および中間、確認試験に重点を置き、平素の授業態度・確認テスト・授業出席率など、多面的に評定した総合点によって決定される。
 - ② 評価および評価基準
評価は、上位からA・B・C・Dの4段階とし、A～Cで単位認定される。
D評価は次のとおりとする。
ア 学期末試験の得点が60点に満たない者
イ 総合点で6割に満たない者
- (4) 学習の成果として目指す資格、合格を目指す検定等
経済産業省認定 応用情報技術者試験
経済産業省認定 基本情報技術者試験
経済産業省認定 ITパスポート試験
サーティファイ主催 Javaプログラミング検定試験
Microsoft 認定 Microsoft Office Specialist (Excel)
ETS 主催 TOEIC 試験
- (5) 資格取得、検定試験合格等の実績
平成24年度全員受験の資格・検定取得率 66.7%
- (6) 卒業後の進路
 - ① 卒業後の進路 学校斡旋による就職率 平成24年度 100%
 - ② 主な就職先 IT関連企業 等

2. 高度情報システム科 (修業年限3年)

- (1) 定員数 75名
- (2) カリキュラム及び時間割 該当ページ参照 (http://www.nht.ac.jp/course_02.html)
- (3) 進級・卒業の要件 大学併修科欄 参照
- (4) 学習の成果として目指す資格、合格を目指す検定等
経済産業省認定 高度情報試験
経済産業省認定 応用情報技術者試験
経済産業省認定 基本情報技術者試験
経済産業省認定 ITパスポート試験
Oracle Java プログラマ認定試験
Microsoft 認定 Microsoft Office Specialist (Excel)

(5) 資格取得、検定試験合格等の実績

平成 24 年度全員受験の資格・検定取得率 63.6%

(6) 卒業後の進路

- ① 卒業後の進路 学校斡旋による就職率 平成 24 年度 100%
- ② 主な就職先 IT 関連企業 等

3. 情報システム科 (修業年限 2 年)

(1) 定員数 50 名

(2) カリキュラム及び時間割 該当ページ参照 (http://www.nht.ac.jp/course_03.html)

(3) 進級・卒業の要件 大学併修科欄 参照

(4) 学習の成果として目指す資格、合格を目指す検定等

経済産業省認定 応用情報技術者試験

経済産業省認定 基本情報技術者試験

経済産業省認定 IT パスポート試験

Oracle Java プログラマ認定試験

Microsoft 認定 Microsoft Office Specialist (Excel)

(5) 資格取得、検定試験合格等の実績

平成 24 年度全員受験の資格・検定取得率 66.7%

(6) 卒業後の進路

- ① 卒業後の進路 学校斡旋による就職率 平成 24 年度 100%
- ② 主な就職先 IT 関連企業

4. ゲーム開発研究科 (修業年限 4 年)

(1) 定員数 40 名

(2) カリキュラム及び時間割 該当ページ参照 (http://www.nht.ac.jp/course_05.html)
(http://www.nht.ac.jp/course_06.html)

(3) 進級・卒業の要件 大学併修科欄 参照

(4) 学習の成果として目指す資格、合格を目指す検定等

経済産業省認定 IT パスポート試験

サーティファイ C 言語プログラミング能力認定試験

サーティファイ Java 言語プログラミング能力認定試験

CG-ARTS 協会 CG クリエイター検定

Microsoft 認定 Microsoft Office Specialist (Excel)

(5) 資格取得、検定試験合格等の実績

平成 24 年度全員受験の資格・検定取得率 100 %

(6) 卒業後の進路

- ① 卒業後の進路 学校斡旋による就職率 平成 24 年度 卒業生なし

5. ゲーム開発専門科（修業年限3年）

- (1) 定員数 75 名
- (2) カリキュラム及び時間割 該当ページ参照 (http://www.nht.ac.jp/course_05.html)
(http://www.nht.ac.jp/course_06.html)
- (3) 進級・卒業の要件 大学併修科欄 参照
- (4) 学習の成果として目指す資格、合格を目指す検定等
経済産業省認定 ITパスポート試験
サーティファイ C言語プログラミング能力認定試験
サーティファイ Java 言語プログラミング能力認定試験
CG-ARTS 協会 CGクリエイター検定
Microsoft 認定 Microsoft Office Specialist (Excel)
- (5) 資格取得、検定試験合格等の実績
平成24年度全員受験の資格・検定取得率 57.7 %
- (6) 卒業後の進路
 - ① 卒業後の進路 学校斡旋による就職率 平成24年度 100 %
 - ② 主な就職先 ゲーム開発会社、映像制作会社

6. ゲーム開発技術科（修業年限2年）

- (1) 定員数 50 名
- (2) カリキュラム及び時間割 該当ページ参照 (http://www.nht.ac.jp/course_05.html)
(http://www.nht.ac.jp/course_06.html)
- (3) 進級・卒業の要件 大学併修科欄 参照
- (4) 学習の成果として目指す資格、合格を目指す検定等
経済産業省認定 ITパスポート試験
サーティファイ C言語プログラミング能力認定試験
サーティファイ Java 言語プログラミング能力認定試験
CG-ARTS 協会 CGクリエイター検定
Microsoft 認定 Microsoft Office Specialist (Excel)
- (5) 資格取得、検定試験合格等の実績
平成24年度全員受験の資格・検定取得率 56.3 %
- (6) 卒業後の進路
 - ① 卒業後の進路 学校斡旋による就職率 平成24年度 100 %
 - ② 主な就職先 ゲーム開発会社、販売業 等

7. 情報ビジネス科（修業年限2年）

- (1) 定員数 40 名
- (2) カリキュラム及び時間割 該当ページ参照 (http://www.nht.ac.jp/course_04.html)

- (3) 進級・卒業の要件 大学併修科欄 参照
- (4) 学習の成果として目指す資格、合格を目指す検定等
 - 経済産業省認定 IT パスポート試験
 - 日本商工会議所 簿記検定試験
 - 日本商工会議所 販売士検定試験
 - Microsoft 認定 Microsoft Office Specialist (Excel, Word, Access, Powerpoint)
- (5) 資格取得、検定試験合格等の実績
 - 平成 24 年度全員受験の資格・検定取得率 86.5 %
- (6) 卒業後の進路
 - ① 卒業後の進路 学校斡旋による就職率 平成 24 年度 66.7 %
 - ② 主な就職先 小売業、IT 関連企業

[3] 教職員

1. 職制別教職員数

学校長	1名
教務課長	3名
教員	7名
非常勤講師	4名
事務	2名
入学広報	2名
就職担当	1名
総務	1名

2. 教職員の専門性

教員に関しては専門性・人間性・教授力等を備えた人材を確保している。今後も企業と連携した研修に参加することにより、教育面及び技術面でのスキルアップを行い、専門分野の現場で十分な経験を積んだ実績に教員としての指導力を備えたプロの教員を確保していく。

[4] キャリア教育・実践的職業教育

就職担当は学生の就職活動に必要な情報を提示し、学生がいち早く情報を知ることができるようにしている。また、学生の求めに即時対応することによって、就職希望者全員が就職することを目標に支援体制を強化し、転職等で就職活動をしている卒業生に対しても同様の支援を行っている。また、就職試験に向けた筆記試験対策や面接指導も計画的に実施している。

[5] 様々な教育活動・教育環境

主な学校行事として、スポーツ大会・球技大会・発表会などがあり、学級ごとに委員会を設け学生中心で行事活動を行っている。また、課外活動として小学校への出前授業や高齢者向けパソコン教室で企画・運営を行うなどのボランティアに積極的に参加している。

[6] 学生の生活支援

本校ではクラス担任制を敷いているので悩みを抱えた学生を早期に把握し、適切にサポートする体制を整えている。学業・人間関係・家庭問題・就職等についての悩みを抱える学生が毎年増加する傾向にあり、精神的にバランスを崩す学生も増えているようである。そうした学生を支援するため、専任のカウンセラーと対応できる相談室の設置は不可欠であり、そうした体制の充実は重要と考えている。

[7] 学生納付金・修学支援

1. 学生納付金

本校の学生納付金は募集要項欄に記載されているとおりで、ほぼ平均的な水準となっている。また、諸経費についてもムダのないよう毎年見直しを行っている。

2. 修学支援

経済的援助を必要としている学生に対し安心して勉学に励めるよう、「日本学生支援機構奨学金制度」、「交通遺児育英会奨学金」、「新潟県専修学校奨学生制度」、「新潟市奨学金」の他に本校独自の「学内優待生制度」の各種奨学金制度を導入、紹介している。

また、学費は通常ならば指定期日までに一括納付することが原則であるが、届出により前期分と後期分の2回に分割して納付することができる。また延納など個別相談に応じている。

[8] 学校の財務 財務情報のページ参照 (<http://www.nht.ac.jp/hojin/zaimu.html>)

[9] 学校評価

1. 自己評価・学校関係者評価の結果

自己評価・学校関係者評価のページ参照 (<http://www.nht.ac.jp/hyoka.html>)

2. 評価結果を踏まえた改善方策

自己点検・自己評価および学校関係者評価によって出てきた課題とその改善策について早急な対処をするとともに、継続的な検討が必要な課題もある。

これらの課題および改善策は、学校改善のために教職員が全力で取り組んでいくべき課題としてとらえている。